

2018年9月12日

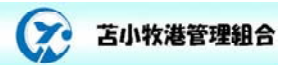
道路陥没

緊急調査

北海道胆振東部地震時の緊急調査対応による 苫小牧国際ターミナル再開

2018年9月6日北海道胆振東部地震発災。6日に札幌市東区の緊急調査実施。
7日、苫小牧港管理組合より緊急調査の要請があり、調査開始。
10日までに、損傷していた港湾施設の仮復旧が完了。
11日には、地震で液状化や陥没等の被害によって閉鎖していた国際ターミナルが運用再開。
苫小牧港の調査と復旧は、14日まで緊急対応を実施した。

○現地調査・作業状況



○空洞調査

探査車による空洞調査



H30.9.8撮影

ハンディ型探査機による空洞調査



H30.9.8撮影

空洞箇所の特定



H30.9.8撮影

○被災箇所の復旧作業

舗装取壊し・掘削



H30.9.8撮影

取壊し・掘削後



H30.9.9撮影

舗装の復旧・仮復旧



H30.9.11撮影

TOMAKOMAI Port Authority

6

苫小牧港管理組合ホームページより



**苫小牧国際コンテナターミナル再開
復旧に苫小牧建協協力**

「苫小牧」苫小牧港管理組合は11日、北海道胆振東部地震の影響で一部液状化や陥没等の被害によって閉鎖していた苫小牧国際コンテナターミナルが運用を再開したと発表した。

10日までに損傷していた実入りコンテナ蔵置部分の間、取り扱わないとしている。ヤード内外の仮復旧などには、同管理組合と苫小牧建設協会が協力。阿部組、鴻野建設、ミヤケン、清野土木、道路建設の5社が作業に当たった。

分の仮復旧と、搬入システムは終了。ゲートについては、輸入コンテナの取引と輸出コンテナの搬入とし、船舶からのコンテナ積み降ろしを開始しているが、コンテナについては空コンテナ蔵置部分の仮復旧に時間を要するため、当面の管轄施設における災害時の協力体制に関する実施協定を結んでいる苫小牧建設協会が協力。阿部組、鴻野建設、ミヤケン、清野土木、道路建設の5社が作業に当たった。

2018年9月12日 北海道建設新聞記事



ジオ・サーチ株式会社

お問い合わせ：03-5710-0200 www.geosearch.co.jp/